

健康

軟部肉腫

質問

50歳の男性です。5カ月前に太もものしこりに気がきました。大きさは3センチほどです。痛みがないので放置していましたが、徐々に影したところ、「軟部肉腫」かもしれないので大きな病院を紹介すると言われました。軟部肉腫は悪性といふことなのでしょうか。



西庄 俊彦  
徳島大大学院  
運動機能外科学講師

回答

脂肪や筋肉、神経などの軟部組織に発生する腫瘍の総称を軟部腫瘍といいます。このうち、悪性のものが「軟部肉腫」です。太ももや腕にしこりができ、発見されることが多いです。

軟部肉腫は、まれな悪性腫瘍です。国立がん研究センターがんの情報サービス「がん登録・統計」によると、肺がんと診断される患者は、男性のみで10万人当たり年間124人います。これに比べ、軟部肉腫は、10万人当たり年間3人です（日本整形外科学会の全国骨・軟部腫瘍登録）。人口約75万人の徳島県内では年間22・5人が発症する計算になります。

5センチ超なら悪性の可能性



データから考えると、質問者のしこりが軟部肉腫である可能性は、1%以下ということになります。悪性の可能性はかな

り低いと考えられます。しかし、徐々に大きくなっているようなら、注意が必要です。一般的に5センチを超えると、悪性の可能性が高くなります。軟部腫瘍は悪性でも痛みを伴わないことがほとんどのため、痛みがないからと見過ごすことはできません。

軟部腫瘍の診断にはMRIが有用で、画像から良性腫瘍と診断できることが多いです。ただし、MRIが有用で、画像から良性腫瘍と診断できることが多いです。ただし、MRIが有用で、画像から良性腫瘍と診断できることが多いです。



左の太ももに軟部肉腫（矢印）ができた患者のMRI画像（徳島大提供）

がんに関する質問は  
徳島がん対策センター  
〈電088 (634) 6442〉  
(平日午前8時半から午後5時まで)  


とがあります。ただ、画像診断が難しい場合も少なくありません。MRIで診断できなければ、腫瘍の一部を切り取って詳しく調べる「生検」を検討します。生検は専門的な知識を要し、慎重に行う必要があります。軟部肉腫はまれな上に種類が多く、生検によって「生の材料」を採取しても、診断に苦慮することが少なくありません。軟部肉腫だった場合は転移している可能性もあるので、全身の検査が必要になります。

軟部肉腫の手術は通常、周囲の正常な組織ごと切除する「広範切除」を行います。場合によっては、抗がん剤治療や放射線治療も必要になります。ただ、近年、登場した新薬により、種類によっては転移があっても進行を遅らせることができるとなっています。悪性腫瘍が疑われる場合は、専門の病院を受診してください。

手術や抗がん剤必要に

(第4土曜掲載)